

マリンレジャー安全レポート

第七管区海上保安本部
マリンレジャー安全推進室
TEL 093-321-2931(担当：橋本)
E-mail:kyuunan7-j7vj2@kaiho.mlit.go.jp

磯釣り・遊漁船の事故多発

第74号 平成23年11月

11月に入って、釣りレジャーに伴う事故が多発しています。

- ① 佐伯市沖でプレジャーボート(3.8m、2名乗り)がうねりを受けて転覆、救命胴衣を着用しており、仲間の船により救助された。
- ② 平戸市の防波堤で釣り中の男性(22歳)が海中転落し死亡(救命胴衣未着用)
- ③ 福岡市の防波堤で釣り中の男性(85歳)が海中転落し死亡(救命胴衣未着用)
- ④ 生月島で磯釣り中の男性(28歳)がいそ場を移動中、高波にさらわれ海中転落。救命胴衣は着用していなかったものの、靴を脱ぎ捨て背負っていたバックにつかまっていたところ、岸に近づいたことから仲間により救助された。
- ⑤ 萩市にてゴムボートで島に渡り釣り中の男性2人(86歳、76歳)が、オールを流され帰れなくなり、連絡を受け出動した水難救済会の救助船により救助された。(救命胴衣未着用)
- ⑥ 長崎野母崎沖でパラシュートアンカーを入れ遊漁中の瀬渡船(4.9t、7名乗り)と、遊漁を終え帰港中の瀬渡船(4.9t、6名乗り)が衝突、釣り客1名が転落し負傷した。(釣り客全員救命胴衣着用)
- ⑦ 長門市の岩場でいそ釣り中の男性(51歳)が海中転落し死亡(救命胴衣未着用)



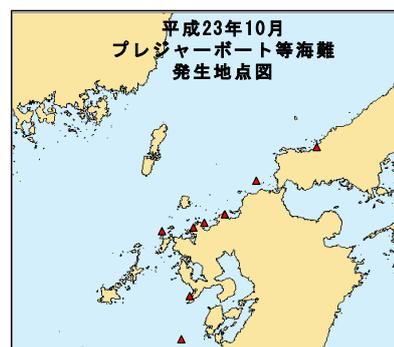
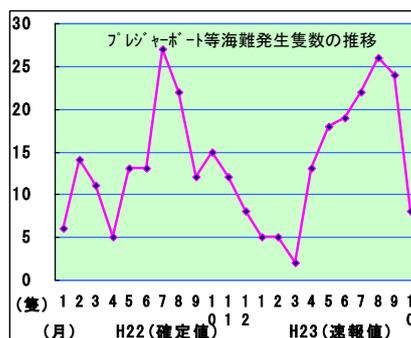
平成23年10月プレジャーボート等海難発生隻数

計 8隻	
衝突	1
乗揚	0
転覆	0
浸水	1
推進器障害	2
機関故障	3
運航障害	1
安全障害	0
その他	0

- ⑧ 北九州市の岸壁で釣り中の男性(31歳)が岸壁の溝につまずいて海中転落、通報により駆けつけた消防職員により救助された(救命胴衣未着用)

事故からの教訓

いそ場には、突然の大きな波やうねりにより、海中転落するなどの危険が潜んでいます。天候を把握して無理な活動はせず、救命胴衣を必ず着用して安全を図りましょう。また、防波堤での釣りは安全だと思いがちですが、毎年海中転落による事故が多く発生しています。さらに、遊漁船船長は人命を預かる大事な職種です。少しのミスが大事故につながりかねません。責任の重さを自覚して安全運航に努めましょう。



平成23年10月マリンレジャーに伴う海浜事故者数

合計 3人(0人)	
遊泳中	1
釣り中	2

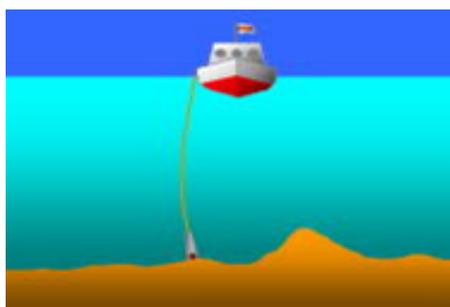
※()内は死亡・行方不明者数

海の相談室だより

浅所に注意してください！！

航海用の海図には、海上を安全に航行するうえで非常に重要な情報として水深が記載されています。水深の測り方は、明治から昭和初期の頃までは船からおもりを付けたロープ又はワイヤーを繰り出し、海底に達するまでの長さから水深を測る点的な測量（錘測）を行っており、必ずしも一番浅いところを捉えているものではありませんでした。また、位置の精度も劣っていました。現在では音波を用いて面的に広範囲な測量ができるようになり、浅いところの頂上を捉えることができるようになりました。位置についてもDGPSで取得することで高精度となっています。

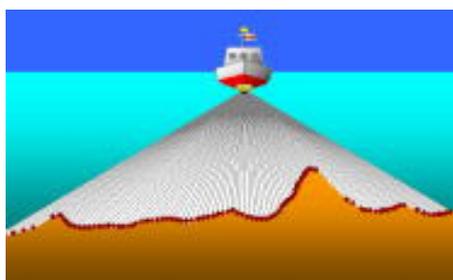
海図に記載されている水深は、昔の測量記録から最近の水路測量による詳細な記録へと書き直す形で随時更新していますが、刊行年の新しい海図でも測量を実施した時期が古い海域では、錘測による水深を採用している場合があります。海図記載水深より浅いところが存在する可能性があります。また、自然海岸の近くや浅瀬周辺は、船による測量は乗揚げの可能性もある大変危険な作業であるため、測量ができなかったところもあり、このようなところは海図に水深の記載が無い状態になります。これらのことから、海図には「浅瀬などの周辺には他にも未発見の浅瀬などが存在することがありうるので注意のこと。」と注意書きされているとおりですので、船長は避険線を設定するなどして浅いところに近寄らない航海計画を立てるようにしましょう。



明治初期～昭和20年代の測深

錘測（レッド測深）（点の測量）

船を停船し、ロープまたはワイヤーに錘鉛をつけたものを海底に下ろして、その長さで水深を測る。



最新の測深

マルチビーム測深（面的な測量）

一度に多数の音波を扇状に発信し、非常に精密な海底地形を把握することができる。

海に関するご質問、お待ちしております！

第七管区海上保安本部海の相談室では、みなさんからの質問を受付中です。プレジャーボート、いそ釣り、潮干狩り、スキューバ・ダイビング等、マリナーの安全に資する海流、潮流、潮汐、深等の情報を広く一般に提供しています。

● 電話 093-331-0033

● FAX 093-331-7030